

2025 年度 (令和 7 年度) 学校評価自己評価表

神辺	中学校区	校番 78	福山市立 中条小 学校
最終更新日		2025年(令和 7年) 4月 1 1日	

I 福山市	<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 各中学校区・学校が、資質・能力の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>
-------	--

II 中学校区	<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <p>○校区合同で教材研究や交流を進められ、よりわかる授業を追及している。 ○「生活につながる」「将来につながる」授業実践を続けている。 ●課題を共有し、引き続き生徒に寄り添い実態に応じた取り組みを重ねてほしい。 ●地域とのつながりを広げてほしい。図書館の活用等、場面を増やす。</p>	<p>児童生徒の現状</p> <p>○自分で目標を立て、友達とまなび合いながら「考える、選ぶ、決める」経験を積み重ねることにより、「学びが面白い」と実感する児童生徒が増えてきた。 ○自分たちが学校を創る主体となり、試行錯誤しながら創意工夫することを楽しむ児童生徒の姿が見られる。 ●家庭学習時間が少ない。スマホやゲームの利用時間が長い。</p>	<p>育成する力 資質・能力</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>学びに向かう力 コミュニケーション力</p> <p>共に学び、共に支え、未来を切り開き、地域・社会に貢献する生徒</p> <p>○児童生徒が、授業での学びを日常の様々な場面で活用し行動できるようになる。 ○児童生徒が、自己肯定感・自己有用感を高める。 ○校種・教科・領域をこえた合同研修を行う。</p>
---------	--	--	---	--

III 自校	<p>ミッション</p> <p>地域や保護者の信頼に応え、地域住民から愛される学校を地域と共に創造する。</p>	<p>育成する力 資質・能力</p> <p>めざす子ども像</p> <p>1・2年</p> <p>3・4年</p> <p>5・6年</p>	<p>A コミュニケーション力 B 人としての思いやり C 課題解決力</p> <p>A 人の話をしっかり聴くことができ、自分の考えを順序に気をつけて伝えることができる。 B 自分や友だちのがんばりやよいところを見つけることができる。 C 思いや願いの実現に向けて、自分の課題をもち、いろいろな方法を使って考えることができる。</p> <p>A 自分の考えをもち、根拠をもとにわかりやすく伝えることができる。 B 相手の立場になって考え、お互いのよさを認め合うことができる。 C 見方や考え方を広げながら課題を設定し、見直しをもって課題を解決することができる。</p> <p>A 友だちと自分の考えの相違に気をつけて聴き、筋道を立てて話すことができる。 B 一人一人の個性を理解し、認め合うことができる。 C 物事を多面的に見たり考えたりして課題を設定し、整理・検討・修正し、よりよい解決方法を考え、実行することができる。</p>
	<p>学校教育目標</p> <p>自分を磨き ともに学び支え合う児童の育成</p>		
	<p>現状</p> <p>〈児童生徒〉 ○児童アンケートで自己肯定感・自己有用感に関する肯定的評価は83%であった。児童のリフレクションで自他への理解が深まっている児童は93%であった。学びにおける肯定的評価は83%で、全体的に学習意欲の向上が見られる。学力調査等正答率40%以下の児童の割合は大きな変化はなかったが、個々において確実に学力の伸びが見られる児童も一定数いる。 ●課題となる児童への個別の対応がさらに必要となる。家庭学習・読書活動・メディア・朝食を取組の重点として、家庭との連携を図りながら改善を図る必要がある。</p> <p>〈授業〉 ○個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた児童理解に基づく授業改善に継続して取り組んでいる。主体的に学ぶ児童を育成するために、学びを充実させる授業の3K(教材研究・関係性・環境づくり)を踏まえた授業づくりを行ってきた。 ●個に応じたUDの視点をもった授業づくりと、自己選択自己決定しながら学びに向かえる個別最適な学びとなる授業づくりをさらに追究する。</p>	<p>研究</p> <p>テーマ</p> <p>内容等</p> <p>めざす授業の姿</p>	<p>主体的に学ぶ子どもの育成 ～学びを充実させる授業の3Kを通して～</p> <p>○特別支援教育を生かした個別最適な学び ○学びを調整するリフレクション力の向上</p> <p>◇学びを充実させる授業の3K(教材研究・関係性・環境づくり)を踏まえ、個に応じたUDの視点をもち、自己選択自己決定しながら学びに向かえる個別最適な学びとなる授業 ◇リフレクションを通して学びを調整できる授業</p>